

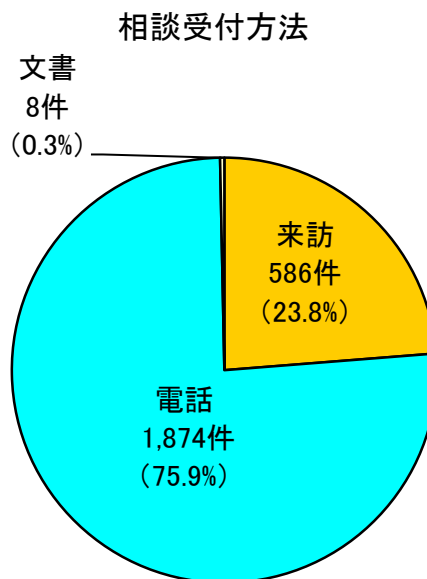
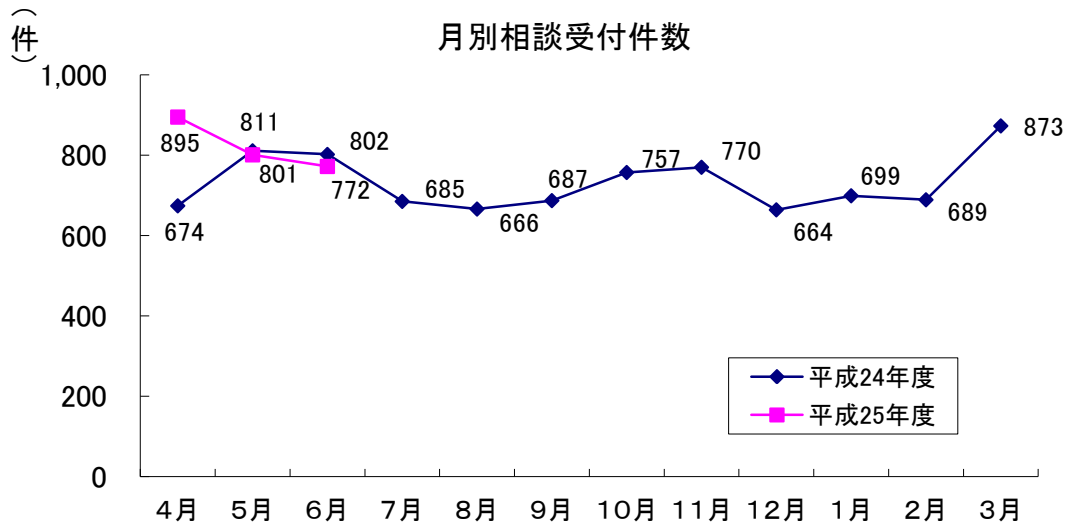
# 平成25年4－6月青森県内の消費生活相談状況

## 1. 平成25年4月－6月の状況

### (1) 相談受付状況

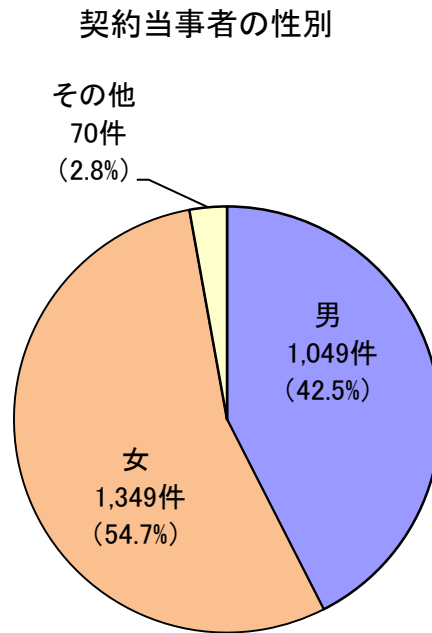
県内の消費生活相談窓口で受付した件数は、苦情相談 2,020 件、問合わせ 448 件、合計 2,468 件であり、前年同期に比べ 181 件 (7.9%) 増加しました。(単位：件)

相談種別	年度 平成25年度 4－6月	平成24年度 4－6月	増減	(参考) 平成24年度
苦情相談	2,020	1,850	170 (9.2%)	7,253
問合わせ	448	437	11 (2.5%)	1,524
計	2,468	2,287	181 (7.9%)	8,777

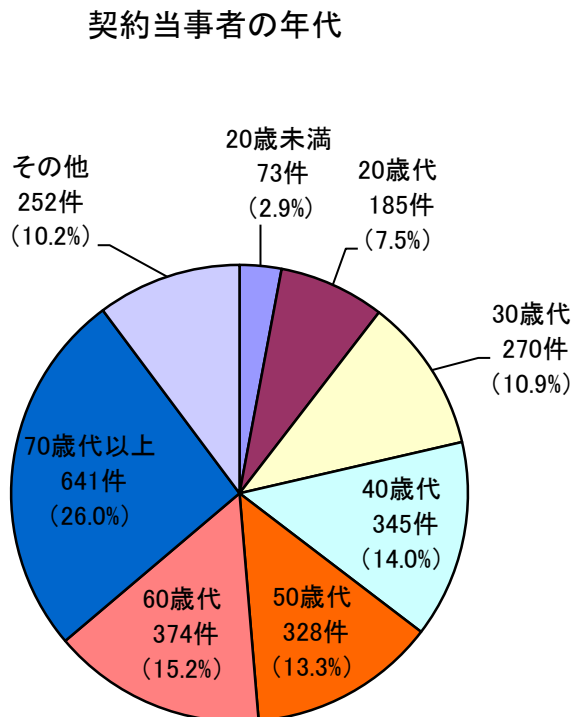


## (2) 契約当事者の状況

契約当事者の性別では、男性が1,049件、女性が1,349件となっています。

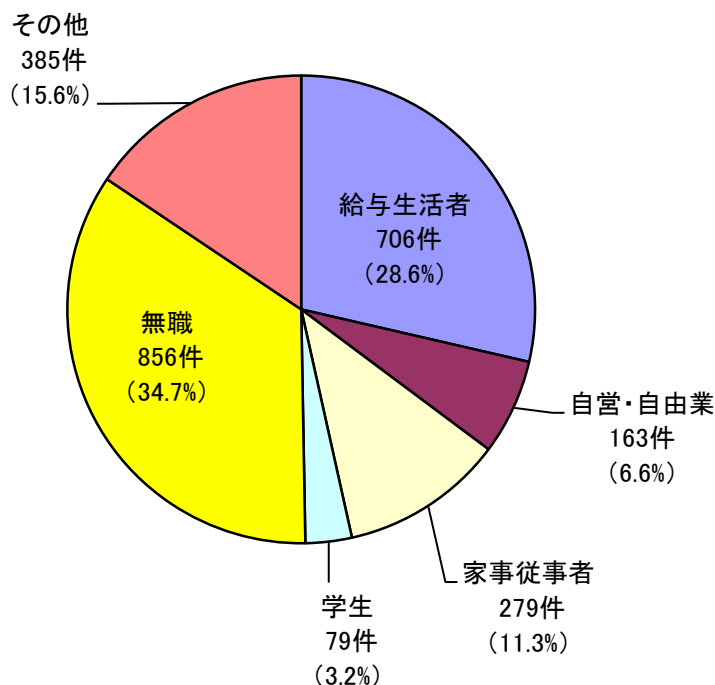


契約当事者の年代別では、70歳代以上が641件と最も多く、次いで60歳代374件、40歳代345件となっています。



契約当事者の職業別では、無職が 856 件で最も多く全体の 34.7%を占めています。次いで給与生活者が 706 件 (28.6%) となっています。

### 契約当事者の職業



### (3) 商品・役務別の相談件数・内容

(単位：件)

	平成 25 年度 4 - 6 月	平成 24 年度 4 - 6 月	増 減	(参 考) 平成 24 年度
1 運輸・通信サービス	438	492	▲54 (▲11.0%)	2,014
2 金融・保険サービス	379	472	▲93 (▲19.7%)	1,603
3 食 料 品	335	94	241 (256.4%)	649
4 教 養 娯 楽 品	135	143	▲8 (▲5.6%)	492
5 レンタル・リース・貸借	133	121	12 (9.9%)	430
そ の 他	1,048	965	83 (8.6%)	3,589
計	2,468	2,287	181 (7.9%)	8,777

「運輸・通信サービス」438 件は、前年同期 492 件と比較すると 54 件 (▲11.0%) の減少となりました。最も多かった相談は、アダルト情報サイトや出会い系サイトなどの放送・コンテンツ等に関する相談 301 件で前年同期 388 件と比較すると 87 件 (▲22.4%) の減少となっています。

「金融・保険サービス」379 件は、前年同期 472 件と比較すると 93 件 (▲19.7%) の減少となりました。最も多かった相談は、融資サービスの相談 247 件 (65.2%) となっています。

「食料品」335件は、前年同期94件と比較すると241件(256.4%)の増加となりました。最も多かった相談は、健康食品に関する相談268件で前年同期30件と比較すると238件(793.3%)の増加となっています。

「教養娯楽品」135件は、前年同期143件と比較すると8件(▲5.6%)の減少となりました。最も多かった相談は、新聞や単行本などの書籍・印刷物に関する相談34件(25.2%)となっています。

「レンタル・リース・貸借」133件は、前年同期121件と比較すると12件(9.9%)の増加となりました。

## 2. 平成25年4月～6月の特徴

### (1) 「もうけ話詐欺」に関する相談が増加

#### ①相談受付件数

(単位：件)

年月	平成25年4～6月	平成24年4～6月	増減
相談受付件数	101	57	44 (77.2%)

#### ②商品別件数

(単位：件)

商品名	件数
ファンド型投資商品(商品ファンド、株や社債という形ではない事業への出資など)	31
商品一般(商品が不明なもの、他品目にわたる場合)	15
預貯金・証券等(未公開株、社債等)	13
アクセサリー	10
他の教養娯楽品(仏像・仏具など)	7
その他(商品デリバティブ取引、役務その他サービスなど)	25
合計	101

#### ③契約当事者の年代および性別

契約当事者の年代・性別でみると、70歳代の相談が48件と最も多く、次いで60歳代と80歳代がそれぞれ18件となっています。

(単位：件)

	男	女	不明	計
30歳代	2	—	—	2
40歳代	3	1	—	4
50歳代	2	7	—	9
60歳代	2	15	1	18
70歳代	13	35	—	48
80歳代	5	13	—	18
不明	1	—	1	2
合計	28	71	2	101

#### ④既払金額が急増

既払金額の合計は47,103千円で、前年同期2,500千円と比較すると44,603千円(1,784.1%)の大幅な増加となっています。お金を支払ってしまった人の数は前年同期の7倍、一人あたりの平均既払い金額も前年同期のおよそ2.5倍になるなど、被害がより深刻になっています。(単位：千円)

区 分 \ 年 度	平成 25 年度 4 - 6 月	平成 24 年度 4 - 6 月	増 減
お金を支払った人の数	15 人	2 人	13 (650.0%)
既払金額合計	47,103	2,500	44,603 (1,784.1%)
平均既払金額	3,140	1,250	1,890 (151.2%)
最大額	8,465	1,500	—

### (2) 健康食品の送りつけに関する相談が増加

#### ①相談受付件数

頼んでもいない健康食品を送るという強引な電話に関する相談247件は、前年同期9件と比較すると238件(2,644.4%)の増加になりました。

(単位：件)

年月	平成 25 年 4 ~ 6 月	平成 24 年 4 ~ 6 月	増 減
相談受付件数	247	9	238 (2,644.4%)

#### ②契約当事者の年代および性別

契約当事者の年代および性別でみると、70歳代の女性が最も多く92件、次いで80歳代の女性71件となっています。男女別では、男性35件に対し、女性209件と圧倒的に女性の相談が多いことがわかります。

(単位：件)

	男	女	不明	計
20 歳代	1	—	—	1
30 歳代	—	1	—	1
40 歳代	—	2	—	2
50 歳代	3	7	—	10
60 歳代	2	27	—	29
70 歳代	13	92	1	106
80 歳代	14	71	—	85
90 歳代	—	2	—	2
不 明	2	7	2	11
合 計	35	209	3	247

### (3) 振り込み詐欺に関する相談が減少

架空請求 74 件は、前年同期に比較すると 13 件 (▲14.9%) の減少となりました。請求の手口として、携帯やパソコンのメールによるものが 63 件、ハガキ等によるものが 11 件となっています。(単位:件)

	オレオレ詐欺	架空請求詐欺	融資保証金詐欺	還付金詐欺	合計
H25年度(4-6)	0	74	2	4	80
H24年度(4-6)	0	87	4	5	96
増減	—	▲13 (▲14.9%)	▲2 (▲50.0%)	▲1 (▲20.0%)	▲16 (▲16.7%)

### (4) 多重債務に関する相談が減少

(単位:件)

年度	平成 25 年度 (4-6月)	平成 24 年度 (4-6月)	増減	(参考) 平成 24 年度
多重債務	92	134	▲42(▲31.3%)	461
融資保証金詐欺	2	4	▲2(▲50.0%)	6
借金整理屋	1	1	—	5
ヤミ金	25	21	4(19.0%)	69
ショッピング枠 現金化	1	1	—	3

多重債務に関する相談 92 件は、前年同期 134 件に比較すると 42 件 (▲31.3%) の減少となりました。ヤミ金に関する相談 25 件は、前年同期 21 件に比較すると 4 件 (19.0%) の増加となりました。

